

地域と共に百周年

豊橋鉄道



右車庫の
ピット
右上留置線
上車庫
左側 井原
のカーブ

写真は自分で
撮りました

個性がいろいろ市内線

豊橋鉄道市内線(東田本線)は東海でたった一つの路面電車です。
市内線は通称市電と呼ばれおりさまざまな車両が走っています。
市電は豊橋駅を出ると駅前大通を通り、新川で曲がり西八丁で曲がります
国一を抜けると石畳でできた坂を登ります。そこかしばはく進むと日本一急なカーブ(半径11メートル)があります。直進すると赤岩口 曲がると運動公園前に向かいます。赤岩口には車庫があり車両の点検をしています。たまに解放されるイベントがあります。

豊鉄新聞

100周年

発行年月日
2024年9月1日
発行人
豊橋市立
牛川小学校
町屋 俊輔

二つの路線 個性がたくさん

豊橋鉄道には二つの路線が有ります
一つは道路をゆっくり走る市内線
もう一つはお花のラッピングの渥美線です
どちらも豊橋駅から走っています
路線図 Wikipedia コモンズより



中古車両
を大切に
理由はお花のラッピングの渥美線もほとんどが中古車です。
利用だと思っています!

おはなの電車
渥美線
豊鉄渥美線ではいろんな花の電車が走っています。
それがカラフルトレインです。
渥美線の各車両に花のマークがあります。



豊鉄渥美線はまず新豊橋を出ると柳生橋のあたりで新幹線をくぐり小池から愛知大学のトンネルを通ります。
それから高師緑地を通り高師につきます。
高師には車庫があり車両の点検をしています。
そこから緑の中を抜けて川を渡り田んぼのなかを走ります。
途中菜の花とのツーショットも取れますよ。
そして大きなターミナル三河田原駅につきます。





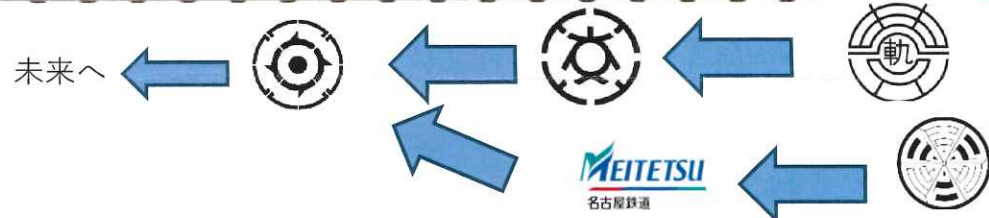
1 豊鉄トリビア
車両のほとんどが中古車



2 70年前の機器にオンザニュー車体



3 昔の本社の敷地は今は病院



歴史がいろいろ100周年

豊橋鉄道は今年で100周年を迎えます。
豊鉄では100周年を記念してさまざまなイベントが行われています。
豊鉄の歴史はまず1924年に豊鉄の前身の会社が設立され25年に市電の運転が開始されました。
渥美線も運転が始まりました。
色々あり46年渥美線が名鉄になりました。
年市内線が豊橋交通になり54年に豊鉄になり渥美線は豊鉄になりました。
そして2005年に岐阜から車両がやってきて8年にホットラムが導入されました。

豊鉄いろいろラッピング

豊鉄ではいろいろなラッピングを市電の車体に施しています。
理由はラッピング広告で収入を増やすためだと思っています。
僕はラッピングも市電の一つの個性だと思います。



今回も自分で写真を撮りました。
今回は初めてチャリで撮りに行きました。
暑いですが坂を降るのは楽しかったです。